

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!

もじつとこの官兵衛伝説

〔6月29日 市民会館〕

上) 黒田官兵衛合唱団による「黒田城」黒田官兵衛の出自
右下) パネリストがまちづくり活動を報告
左下) 黒田官兵衛グッズや特産品を販売



「北播磨官兵衛フォーラム」も「もじつとこの官兵衛伝説」が開催され、およそ600人の観客が歴史に思いを巡らせました。

「素顔の官兵衛」と題して講演を行った歴史学者の渡邊大門さんは、「官兵衛の出自については、確実な史料が見つかっていない。大河ドラマ『軍師官兵衛』は史実など異なる部分もある。皆さんも自分で文献に当たるなどして、歴史の真実を紐解く醍醐味を味わってほしい」と語りました。

パネルディスカッションでは、播磨各地から参加したパネリストが、官兵衛にまつわる地元の伝承や独自の研究成果などを交えながら、官兵衛を中心としたまちづくり活動などを報告しました。

また、会場では観光PRコーナーが設けられ、パンフレット等の配布や官兵衛グッズや特産品の販売が行われました。



生誕地の会作製の甲冑を見学する都市研究会メンバー

「官兵衛ナイト」開催に向けて

〔7月12日 荘厳寺ほか〕

9月27日(土)に荘厳寺で開催される「官兵衛ナイト」に向けて、関西学院大学「都市研究会」のメンバーが北播磨黒田官兵衛生誕地の会にイベント内容の企画・提案を行いました。同会は昨年からは官兵衛を核としたまちづくりに参画しており、今年もキヤンドルナイトやジャズなどのライブを中心としたイベント「官兵衛ナイト」をプロデュースします。

さすまたを使って防犯訓練

〔6月30日 西脇幼稚園〕

市内の幼稚園職員が参加して、園児を守るための講話と訓練がありました。

青少年指導員の高原幸盛さんの講話の後、職員17人が実際に「さすまた」やパイプいすなどの園内の身近な道具を使って実践的な訓練を行いました。

参加した先生らは「園児を守るため、日ごろから危機管理を意識して、訓練を重ねていきたい」と話しました。



さすまたを使って実践的な訓練

「福島のへそ」本宮市で「日本のへそ」をPR

〔7月19日 福島県本宮市〕



ステージで西脇市をPRする片山市長

全国へそのまち協議会総会が「福島のへそ」本宮市で開催され、西脇市をはじめ加盟8市町村が定住促進に関する取り組みについて意見交換をしました。また、「もとみや麦酒&元氣いきいきフェスタ」のステージイベントでは、官兵衛を核としたまちづくりなどを紹介、特産品のPRも行いました。

高校生が真心を込めておもてなし

〔7月20日 センティア西脇〕



心を込めて点てたお茶をお客さまに振る舞う高校生たち

西脇高校・西脇工業高校茶道部による「チャリティ茶会」が開催されました。「茶道を通して、少しでも同年代の方や東日本大震災被災地の方の力になりたい」との思いから、お茶券の収益はユニセフやあしなが育英会へ寄付されます。両校生徒は、来場者へ心を込めて精一杯のおもてなしをしました。

第5分団比延部が北播大会を制す

〔7月13日 兵庫県広域防災センター〕



比延部のポンプ操法

第25回北播磨地区消防操法大会が開催され、西脇市からは第4分団野中部が小型ポンプ操法の部に、第5分団比延部がポンプ車操法の部に出場しました。雨が降る悪条件の中でしたが比延部は厳しい訓練の成果を発揮し見事優勝、8月3日の兵庫県消防操法大会に駒を進めました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市民企画委員会「0」が中心となってあなたが主役フェスティバルを開催。のど自慢、ステージ発表、手づくり趣味の市など盛りだくさんのイベントを実施(7月13日、市民会館)



市立北はりま農産物直売所「北はりま旬菜館」で、オープン3周年を記念し「みんなの夏祭り」を開催(7月5日~6日、北はりま旬菜館)



福祉学習の一環として実施された認知症サポーター基礎講座で楠丘小学校4年生が認知症について学習(7月7日、楠丘小学校)



西脇高校生活情報科の皆さんによる播州織布地を利用したかわいい小物などを展示中(9月下旬まで、西脇市役所1階ロビー)